

花舞 仲間たち!



後天性脳損傷の子どもを支援するシンポジウム

小児高次脳機能障害の社会環境を考える



Illustration 「いのちはみーんなの宝物」 by Shiori Kato 15才 (アトムの子 兄弟児)

日時 2008年11月24日(月)
開場 12:30 開演 13:00
会場 はまぎんホール ヴィアマーレ
(横浜市西区みなとみらい3-1-1)
アクセス ■JR京浜東北根岸線・横浜市営地下鉄
「桜木町駅」動く歩道利用5分
■みなとみらい線 みなとみらい駅下車
「クィーンズスクエア連絡口」
「けやき通り口」より 徒歩7分
※ 会場専用の駐車場はございません。
参加費 無料 (資料代 500円)



主催 NPO法人 日本脳外傷友の会 <http://jtbia.jp/>
共催 後天性脳損傷の子どもをもつ家族の会 アトムの会
高次脳機能障害の子どもを持つ家族の会 ハイリハキッズ

ヤマト福祉財団関東支部助成事業

<http://atom-kids.net/>

http://www.geocities.jp/h_r_kids/



後援(予定): 文部科学省、国土交通省、厚生労働省、日本障害者協議会、神奈川県総合リハビリテーション事業団、千葉県身体障害者福祉事業団、横浜市総合リハビリテーション事業団、名古屋市総合リハビリテーション事業団
認定 NPO 法人 パイロット日本基金、ファイザー株式会社、読売新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、NHK厚生文化事業団

— プログラム —

第1部 「聞いて下さい 私たちの声を」

脳外傷友の会 コロポックル（北海道）

いわて脳外傷友の会 イーハトーヴ

ひろしま シェイキングキッズ

後天性脳損傷の子どもをもつ家族の会 アトムの子

高次脳機能障害の子どもを持つ家族の会 ハイリハキッズ



第2部 パネルディスカッション 「小児高次脳機能障害の支援」

パネリスト

栗原 まな：神奈川リハビリテーション病院 小児科医

馬屋原 誠司：広島県・広島市 スクールカウンセラー

渥美 義賢：国立特別支援教育総合研究所 発達障害教育情報センター長

太田 令子：千葉リハビリテーションセンター（千葉県高次脳機能障害支援コーディネーター）

司会

中島 恵子：帝京平成大学大学院 教授（神経心理学）

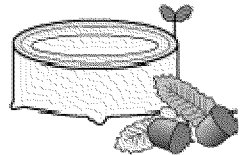
◆ どなたも参加できます

全国の当事者のお子様とご家族、医療・教育・福祉・行政の各関係者、後天性脳損傷後遺症を負った子ども達の教育・社会参加に関心がある方のご参加をお待ちしています。

◆ 託児あります

ボランティアの学生さんがお子様をお預かりいたします。

希望者は事前に問いあわせをお願いします。（先着30人）



◆ 申込受付・問合せ *** 担当：アトムの子 代表 狩野雅之 ***

〈FAX〉045-811-8951 〈E-mail〉atom2001@mbh.nifty.com 〈当日連絡先〉090-2567-7213

※ 当日の直接来場も受け付けますが、なるべく事前に申し込みをお願いします。

----- 参加申込書 -----

① 参加者名 _____ 同行のお子様（年齢も） _____

② 居住地 都道府県 _____ 区市町村 _____

③ 連絡先 電話 _____ （自宅・職場・携帯）

（職場の場合）名称・所属 _____

E-mail _____

④ 区分 1. 患児（18才未満）家族 2. 成人患者家族 3. 患者本人 4. 行政関係 5. 福祉関係
6. 教育関係 〈 a 普通級教員 b 個別支援級 c 特別支援学校 d その他（ ） 〉
7. 医療関係 職種：（ ） 8. その他（ ）

⑤ 資料希望部数 _____ 部

※ 要望・配慮等がありましたらご記入願います。（託児・手話通訳など）